



デジタル化が進まない訳は

二〇一六年に始まったマイナンバーカード。健康保険証や運転免許等、様々な機能を集約し便利になる筈。しかし、中々普及しない。「二〇二二年度末、全国民に行き渡るように」と菅首相。

デジタル庁を設けてデジタル化を促進と云う。一方、振込詐欺、ドコモ口座不正使用、Go Toトラベルで空予約してクーポンを詐取等、デジタルを介した犯罪が後を絶たない。犯人は捕まらない。詐取されたお金も戻らない。デジタル化を活用しているのは犯罪者。デジタルデータなら、お金の動きを調べ、犯人を見つけ、詐取されたお金を取り戻せる筈だが出ていない。

一枚のカードに全ての個人情報が集約されたら、どんな被害にあうか分からない。

さらに根っこは深い。一九八三年、学術会議法は改定された。学者間の選挙で選ばれていたのを「学術会議の推薦に基づき首相が任命」となった。この時「政府は学術会議の推薦をそのまま形式的に任命する」と説明。これを踏まえて学術会議法は改定された。

菅首相が「任命は首相の権限。推薦通りに任命する義務は無い」と云うのは明らかな法律違反。

「後から解釈を変え」法律の意味を首相が変えるのは国家的な詐欺ではないか？

その張本人が「絶対安心なシステムを作る」と云った時、皆さんは信用しますか？

政治の信頼なしにはデジタル化は進まない。皆さんはどう思われますか？

とさかやま 鶏冠山

山梨県山梨市
西沢溪谷ネトリ大橋から
二〇二〇年十月



西沢溪谷にかかるネトリ大橋に立つと目の前にわつりの鶏冠とさかのようなごつごつした山、鶏冠山が見える。岩登りの技術がないととも登れない山だ。

山梨県の北東、山梨県と埼玉県、長野県の境に甲斐

信ヶ岳があるが、その前に立ちはだかっている。西沢溪谷の源流はずっと左の国師ヶ岳から流れ出て、鶏冠山の麓を通る。

山には様々な広葉樹がある。一部には紅葉が始まっている。後、一月もしないうちに様々な色合いの紅葉が楽しめるだろう。

鶏冠山の標高は二一五〇m。同じ漢字で「けいかんざん」別名黒川山が南東方向にある。こちらは一七一九〇m。信玄の時代、金が取れたそうだった。

